

岩手県感染症週報

平成18年第9週（2月27日～3月5日）

岩手県結核・感染症情報センター

第9週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症
- 4 類感染症

患者発生 の 報告はありま
せんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

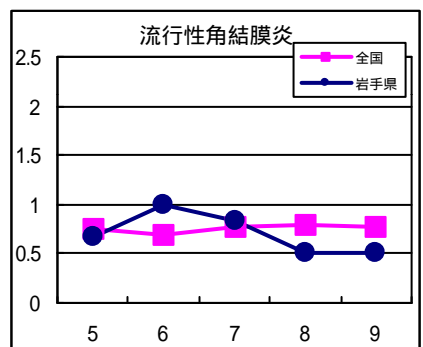
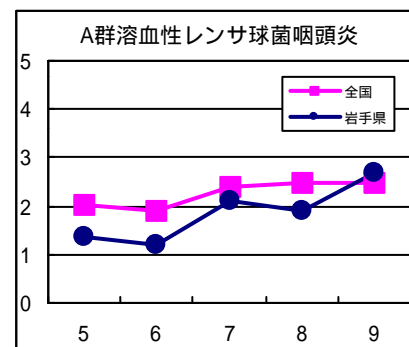
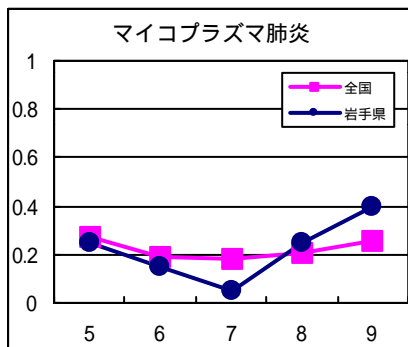
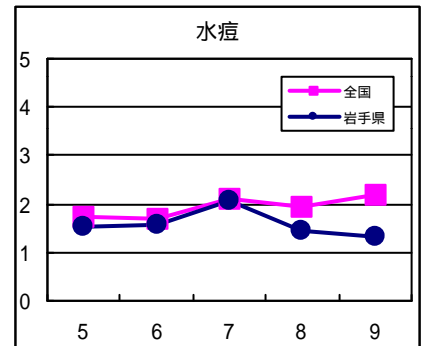
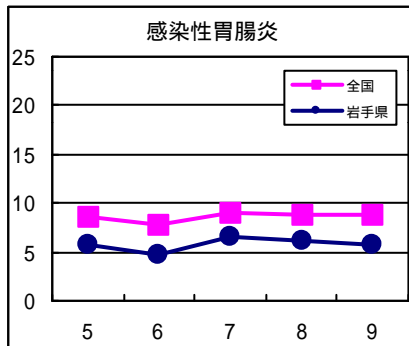
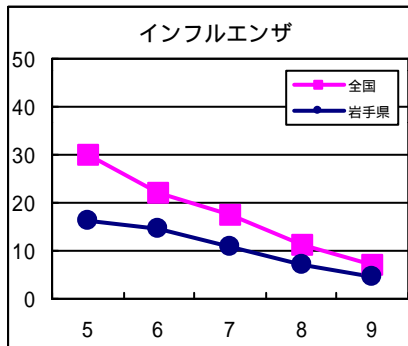
・急性脳炎の患者の報告が1例ありました。患者は40歳代の女性で病原体等は不明です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・溶レン菌咽頭炎は、各地で患者が増加しており、この週には花巻、北上、釜石、久慈の四地区で警報値（定点当たり患者数4.0人）を超えています。同疾患は、昨年11月から12月にかけて患者が増加し、年末年始時期に一旦患者数は減少しましたが、1月中旬から再び増加を続けています。患者の年齢層は4～6歳がもっとも多く、小学校高学年以上では患者は比較的少なくなっています。病原体はA群溶血性レンサ球菌という細菌で、潜伏期間は2～5日、突然の発熱と咽頭痛によって発症し、莓舌（舌が莓状に赤くはれること）がみられることがあります。合併症として肺炎、髄膜炎、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを引き起こすことがあるので、発症したら医療機関を受診し、適切な治療を受けることをお勧めします。感染の予防には家族内などで患者との濃厚な接触を避けることが必要ですが、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も有効です。
- ・インフルエンザは、この週には県内すべての地区で患者数が減少し、注意報値（定点当たり患者数10.0人）を下回りました。今後、患者はさらに減少することが予想され、今シーズンのインフルエンザの流行は終息に向かうものとみられます。
- ・流行性耳下腺炎は、この週には宮古、久慈地域で患者数が増加しました。今後の動きが注目されます。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		5	6	7	8	9		
インフルエンザ	岩手県	16.11	14.67	10.86	7.22	4.67	↓	
	全国	30.09	21.88	17.42	11.17	7.23		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.05	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.24	0.26	0.28	0.28	0.33		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.36	1.18	2.1	1.92	2.67	↗	
	全国	2.04	1.91	2.38	2.5	2.5		
感染性胃腸炎	岩手県	5.69	4.72	6.59	6.23	5.74	→	
	全国	8.58	7.71	9.08	8.71	8.72		
水痘	岩手県	1.54	1.59	2.08	1.44	1.31	→	
	全国	1.74	1.71	2.12	1.93	2.18		
手足口病	岩手県	0.08	0.08	0.15	0.13	0.15	→	
	全国	0.08	0.07	0.08	0.09	0.11		
伝染性紅斑	岩手県	0.15	0.13	0.08	0.08	0.13	→	
	全国	0.24	0.2	0.25	0.26	0.26		
突発性発疹	岩手県	0.31	0.44	0.41	0.41	0.23	→	
	全国	0.51	0.5	0.58	0.56	0.56		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.28	0.15	0.13	0.33	0.28	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.31	0.51	0.51	0.46	0.85	↗	
	全国	1.24	0.94	1.33	1.41	1.39		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	1	0.83	0.5	0.5	→	
	全国	0.76	0.7	0.77	0.79	0.77		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	418	310	357				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.01	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.25	0.15	0.05	0.25	0.4	→	
	全国	0.27	0.19	0.18	0.21	0.26		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									（患者発生数）	
分類	疾病名	岩手県					累計	全国		
		（週）	5	6	7	8		9	9	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	8	70	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	9	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	3	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	8	76	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	11	97	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	5	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	33	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	3	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	25	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	24	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	9	168	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	9	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	15	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	5	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	1	0	0	0	2	7	87	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	6	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	7	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	5	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	64	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

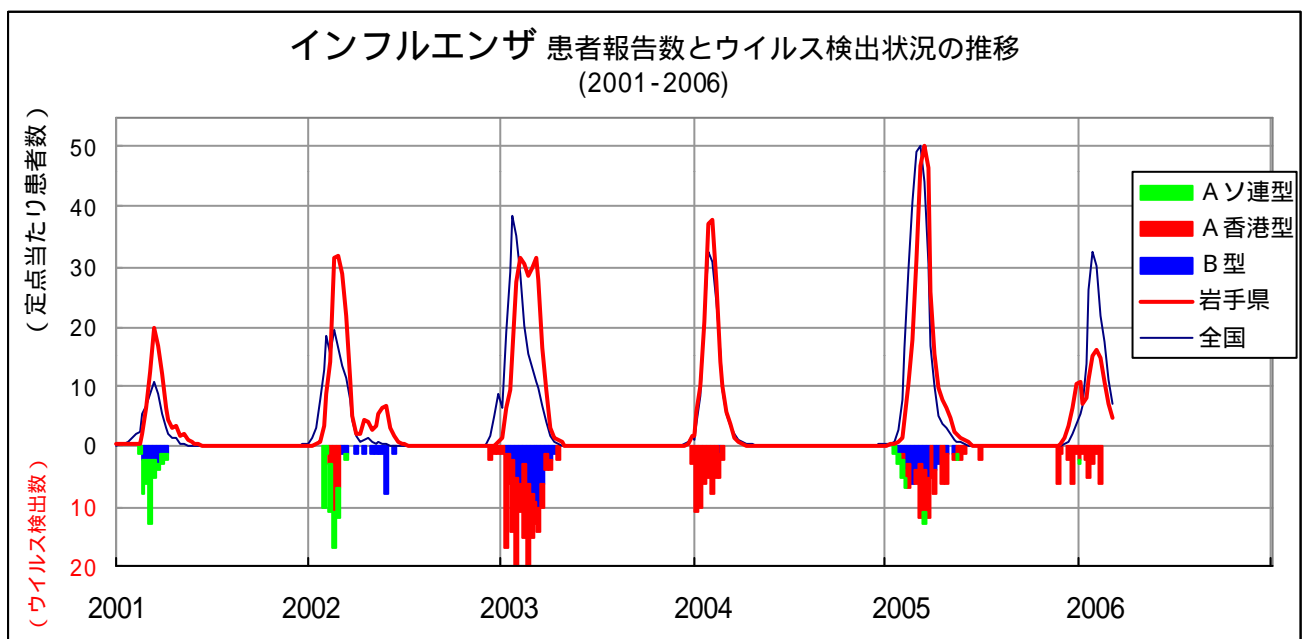
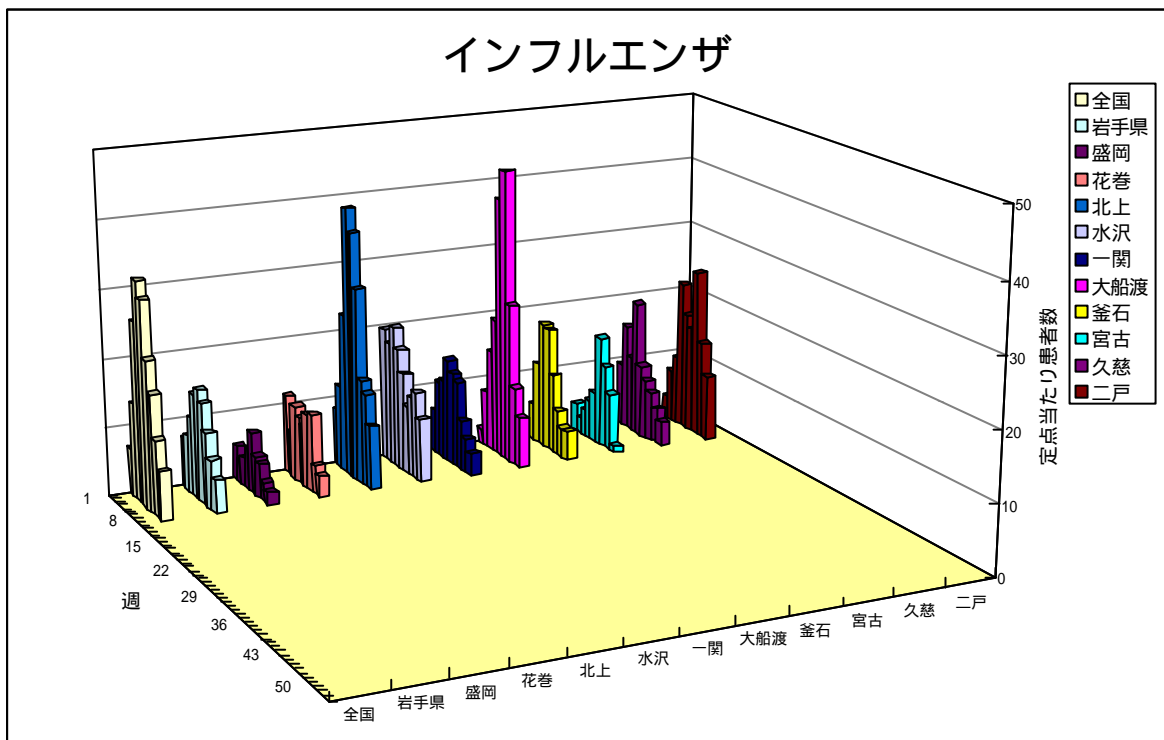
昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。12月には年末年始休などにより、一時患者が減少したが、1月初旬から下旬にかけて患者数は再び増加した。2月第1週をピークに患者数は減少を続けており、このまま流行が終息すれば、本年のインフルエンザの流行は例年よりかなり小規模であると言える。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（3/9まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
56	16	3	6	4	5	12	0	4	1	5

感染性胃腸炎の集団発生

一関市内の児童福祉施設（入所者60名、職員28名、実習生3名）
3/4（土）から3/7（火）にかけて14名に下痢、嘔吐、発熱等の発症を確認
複数の有症者の便からノロウイルスを検出した

平泉町内の幼稚園（園児58名、職員5名）
2/28（火）から3/3（金）にかけて6名の園児に嘔吐、下痢等の発症を確認
複数の有症者の便からノロウイルスを検出した

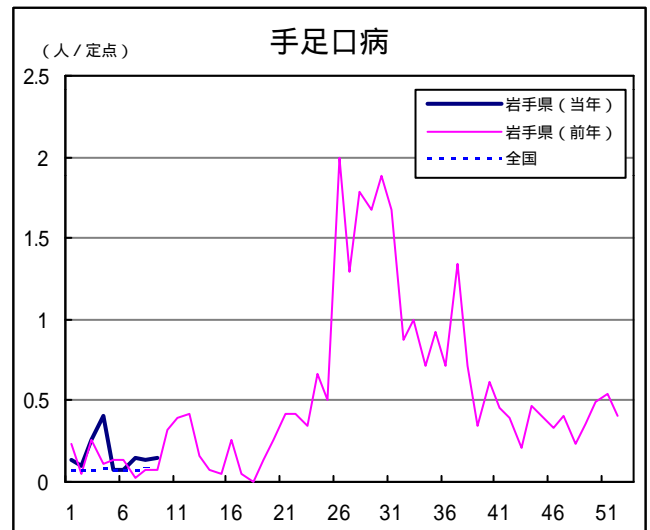
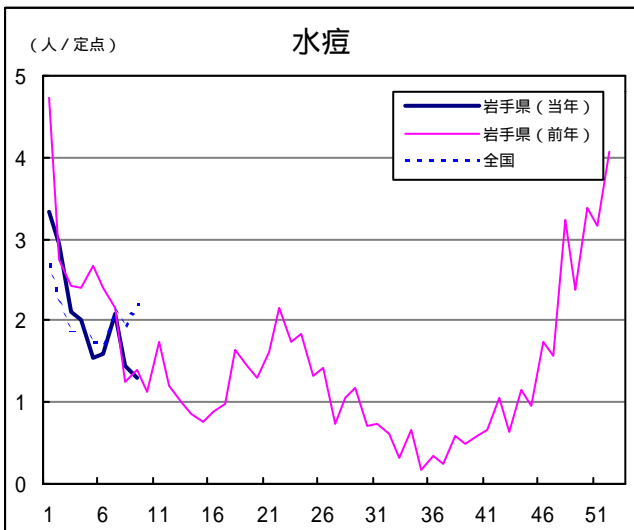
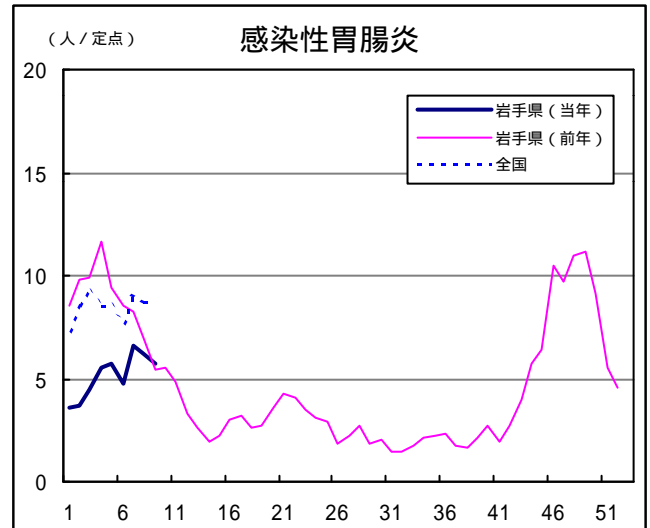
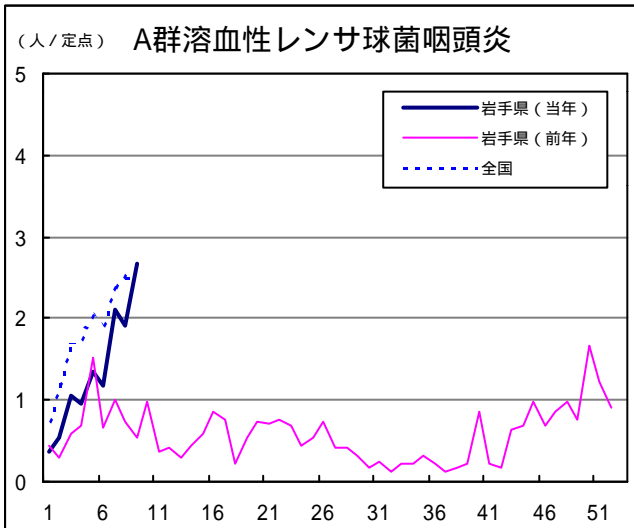
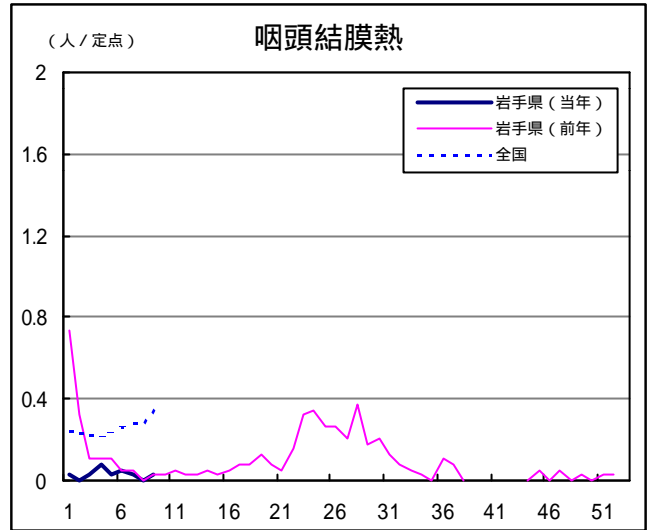
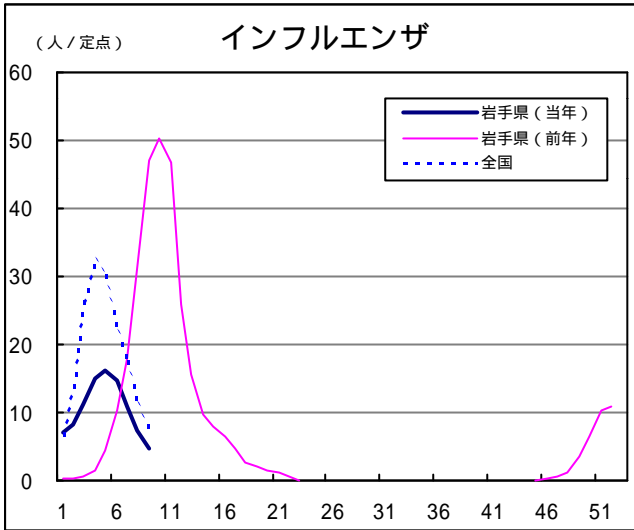
- ・いずれの事例も食中毒の可能性は低く、ヒト-ヒト感染による集団発生事例と考えられ、保健所は施設に対し手洗い及び消毒の徹底等の二次感染予防対策について指導した。

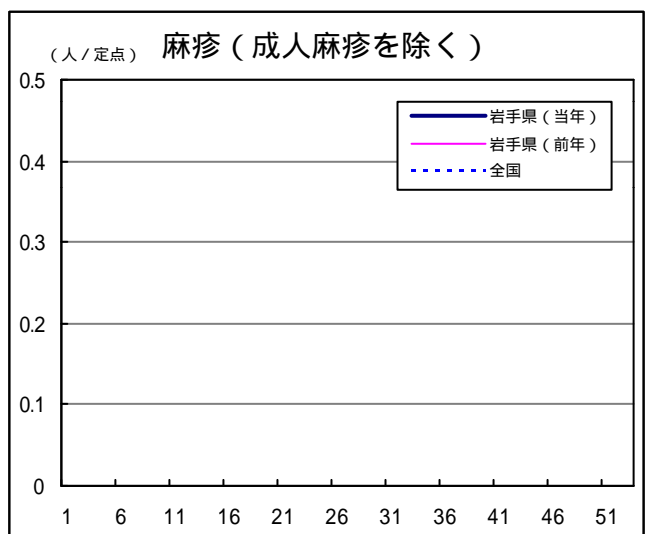
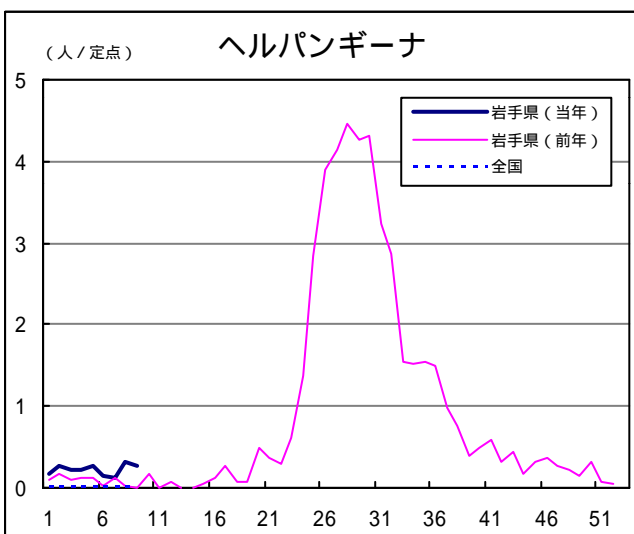
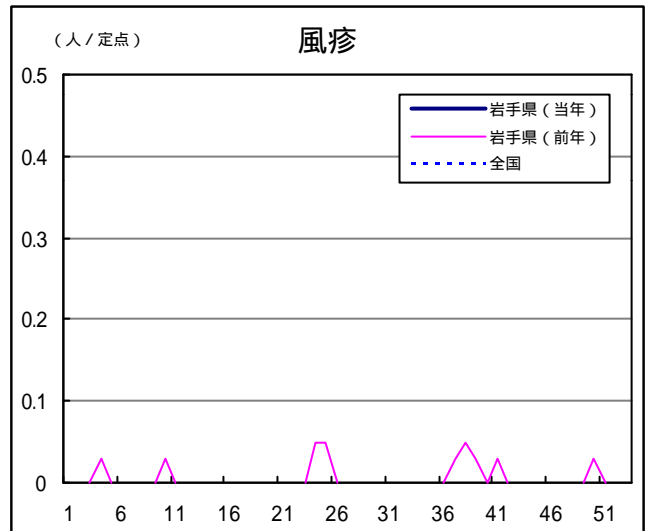
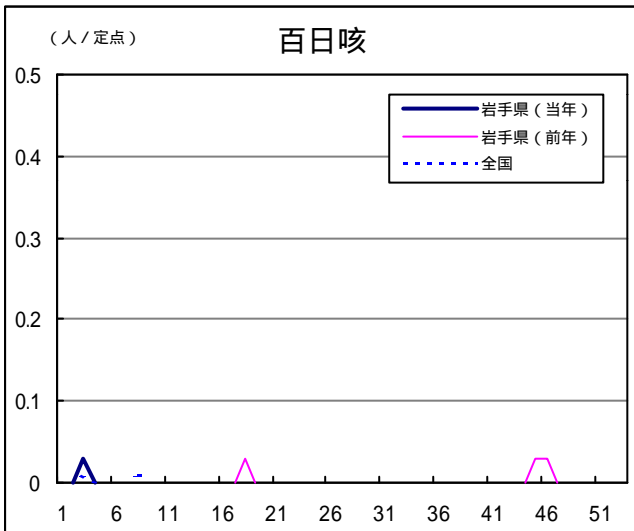
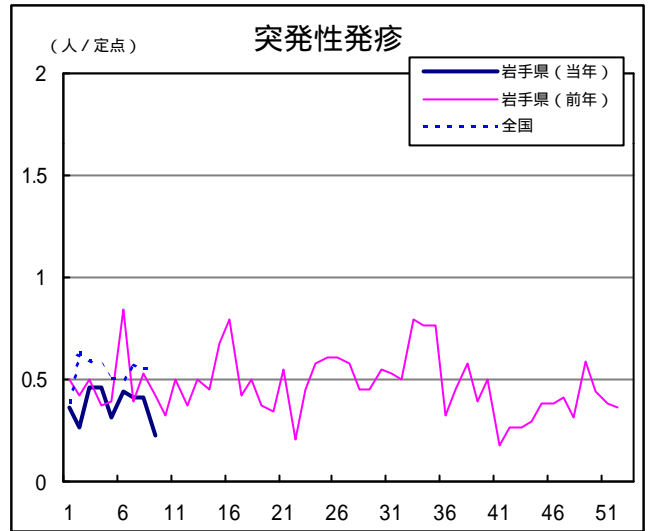
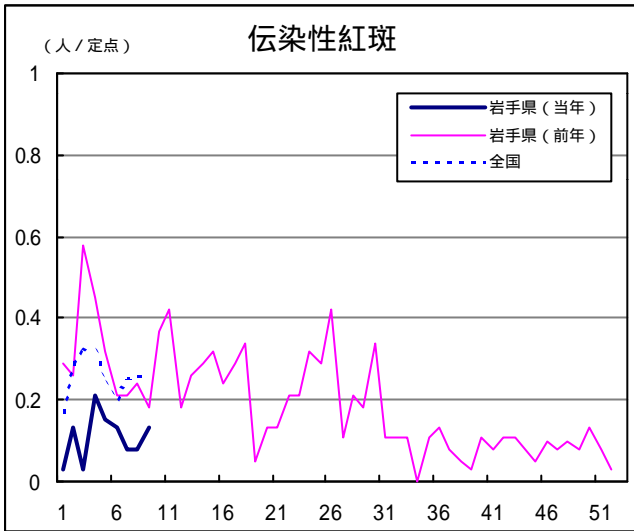
Q & A

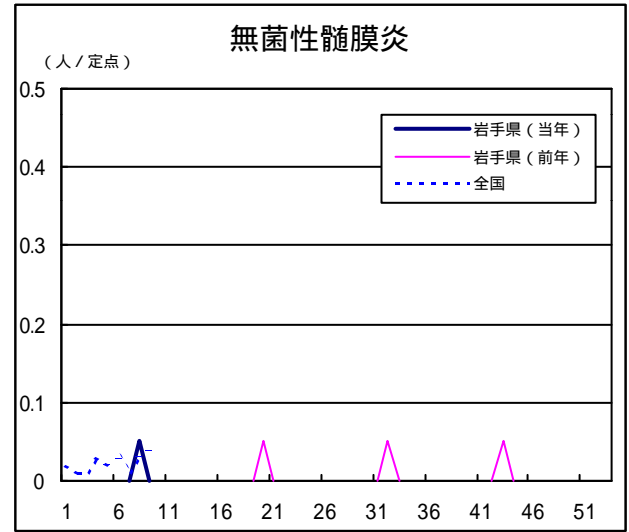
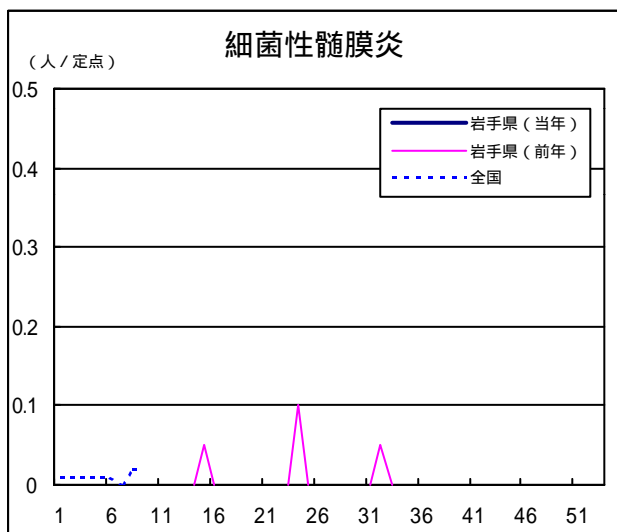
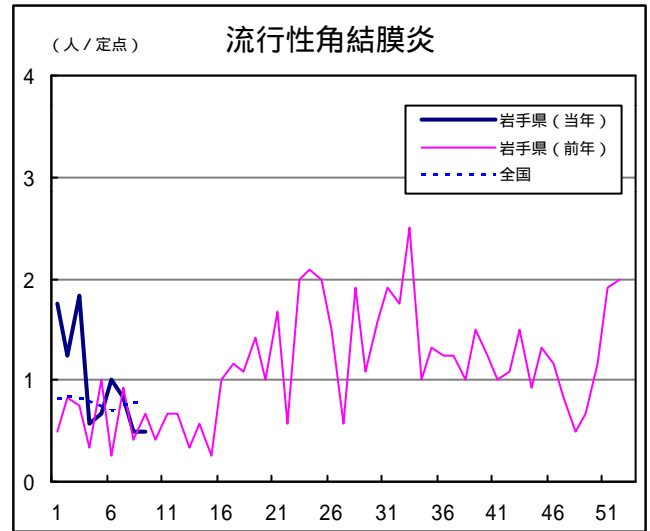
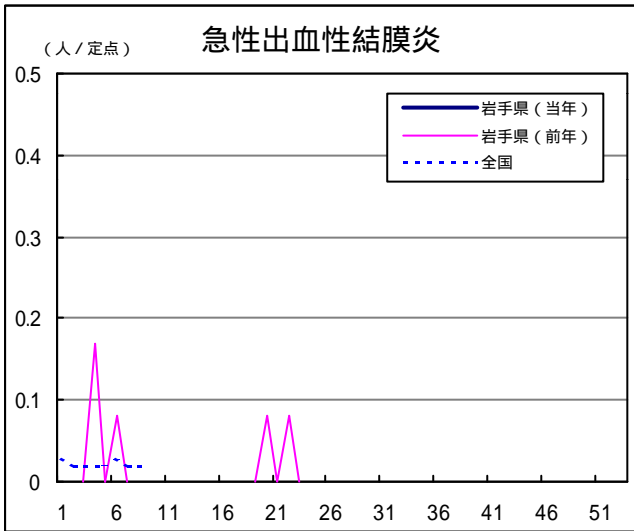
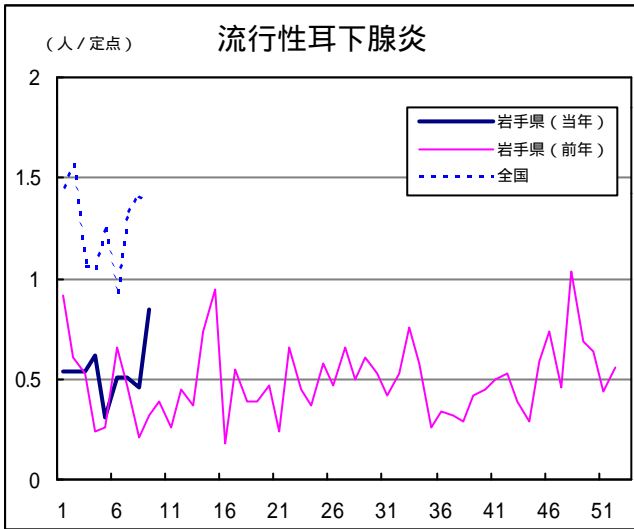
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

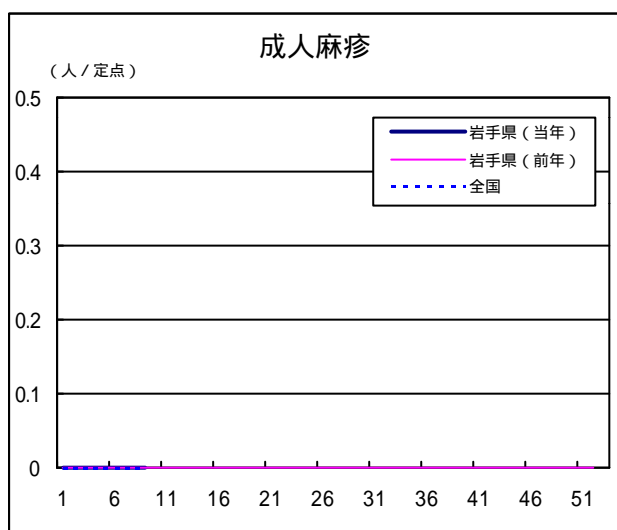
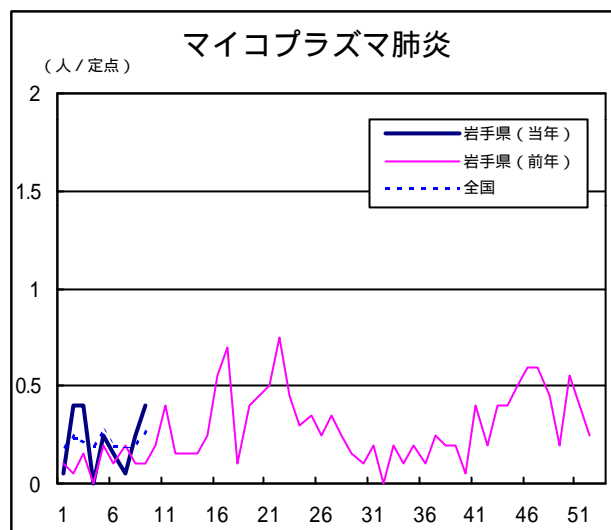
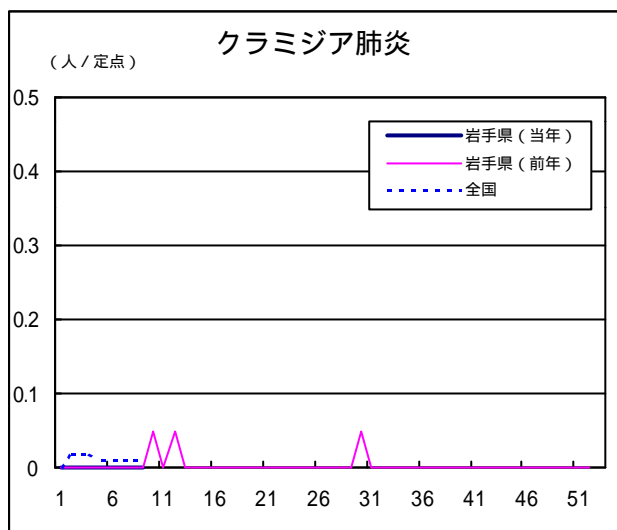
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第9週 平成18年3月10日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>